

柔道団体

足短大付、初出場で栄冠

女子

男子 白鷗足利競り勝ちV9

県高校 新人スポーツ

県高校新人スポーツは7日、県武道館ほかで柔道、ソフトテニスなどを行い、柔道女子団体は創部2年目の足利短大付が決勝で4連覇を狙った国学院栃木を1-0で破り初出場初優勝を飾った。

白鷗大足利・国学院栃木のライバル対決となった男子団体決勝は、白鷗大足利が2-1で競り勝ち9連覇を達成。ソフトテニスでは女子個人を行い、一ノ瀬舞美・佐藤美々香組(白鷗大足利)が頂点に立った。

▽決勝
足短大付 1-0 国学院栃木
石川 引分け 今田
田 優勢 大橋
同 引き分け 青田

▽決勝
大田原 2-1 佐野日大
▽女子団体決勝
国学院栃木 3-0 黒磯 黒磯南 1-0 佐野日大
▽男子団体決勝
国学院栃木 3-0 足短大付 準決勝 国学院栃木 3-0 黒磯南 足短大付 1-0 黒磯南 足短大付 2-1 黒磯南 足短大付 2-1 作新 不戦勝 黒磯南

▽団体3人戦
白鷗大足利 1-0 内容勝ち
▽団体3人戦
白鷗大足利 1-0 内容勝ち



女子団体決勝、国学院栃木一足利短大付中堅戦 足利短大付・権田が背負い投げて技ありを奪う
＝県武道館、柴山英紀撮影

創部2年目 強い気持ち、快拳呼ぶ

足短大付

創部2年目の新興チームが、県高校柔道界に新たな風を吹き込んだ。女子初出場初優勝を果たした

足利短大付。曇を下りた選手たちは、抱き合って喜びをかみしめた。初戦で宇都宮短大付に1-0、準決勝で作新学院に2-1で競り勝つて勢いに乗ると、決勝でも国学院栃木の主力の一部が欠場したとはいえ、堂々と渡り合った。先鋒戦は唯一の2年生で主将の石川星が1階級上の相手にもひるまず引き分ける

ハイライト

と、中堅戦は権田明亜が1分50秒すぎに背負い投げで技ありを奪って優勝。大将戦では70kg級の岡葉月も小柄な選手に冷静に対処して引き分けた。殊勲の権田は「一本取って勝つという強い気持ちで戦った結果」と胸を張った。昨年の創部にあたり、白鷗大足利高時代に全国高校総体女子48kg級3位の実績を持つ内藤暁教諭が監督に就任。当初は部員不足で団体戦に出場できなかったが、今年に同じ足利一中の石川先輩と一緒にやりたかったという岡ら1年生が入部。山中柚稀を含む4人で臨んだ初の団体戦で結果を出し、内藤監督も「課題はあるが、今日は頑張った」と頷を緩めた。次なる目標は来春行われる予定の全国高校選手権大会出場。年明けに予定される県予選に向け、石川は「もっと力を付けて歴史をつくってきたい」と目を輝かせた。(柴山英紀)

つなぐ伝統喜ぶ
○柔道男子団体決勝は、白鷗大足利がライバル国学院栃木に2-1で競り勝ち9連覇を達成。先鋒で一本勝ちした岸田耕平主将は「しっかりと優勝できて、ほつとした」と伝統が繋がったことを喜んだ。岸田でリードしたが、中堅戦で敗れて1-1で迎えた勝負の大将戦。1年生で100kg級の齋五澤凌生が73kg級の小柄



男子団体優勝の白鷗大足利

女子団体優勝の足利短大付

男子団体3人戦優勝の大田原

「同門対決も増えると思うが、白鷗大足利の選手で全階級を制覇したい」とチームメートの思いを

代表した。国学院栃木・藤井達也(1年生。男子団体決勝の中堅戦で一本勝ちを奪るもチームは準優勝に終わり)「高校で初めての試合で緊張したが、得意の払い巻き込みで技ありが取れたので納得できる。同級生には負けたくない」と